

専門部会報告シート

部会名	相談・くらしの部会		報告回	令和6年度第3回全体会
委員 氏名		氏名	選出母体及び役職等	
	1	◎田中 研二	府中市社会福祉協議会 地域福祉部地域活動推進課長補佐兼権利擁護課長補佐	
	2	○枕島 剛之	障害当事者	
	3	中川 さゆり	地域生活支援センタープラザ 施設長	
	4	原 郷史	地域生活支援センターふらっと センター長	
	5	麻生 千恵美	デイケアステーションカルテット 代表	
	6	藤田 亜弥	ケアチーム大芽 施設長	
	7	中村 弘子	府中市パーキンソン病友の会	
	8	高橋 史	府中市肢体不自由児者父母の会 会長	
	9	中村 嘉人	東京都立府中けやきの森学園 主任教諭	
	※部会長は◎、副部会長は○			
現状	府中市では、令和3年度より地域生活支援拠点等が整備されているが、前期に引き続き、整備の進行状況や実際の運用状況の把握・検証をしていく必要がある。また、地域課題の抽出及び解決に向けて協議される場として機能を高めていく必要がある。			
検討 テーマ (概要)	「当事者の方がいつまでも地域で暮らしていけること」を検討テーマとし、令和5年度では、地域における障害のある方のニーズの把握、課題の整理を行い、6年度は、そのニーズに応えるためには、何が必要かを明確にし、部会としての答申にまとめる。			
取組 経過	【令和6年度の取組】 ・令和5年度に行った、重症心身障害のある当事者に向けたアンケートの結果から、多くの当事者（家族）は自宅や施設等、地域で暮らすことを望んでいる。 - また自由記載においては、入所施設の少なさや両親の高齢化を理由に、漠然とした将来への不安が見て取れた。そうした結果から、府中市でも障害当事者の方の選択肢を増やす意味からも、住み慣れた地域に施設等を整備する必要があるのではないか、との結果が見られ、府中市を含む多摩地区26市への施設設置状況調査を行い、参考とすることとした。 ・他市の調査結果より、施設建設を積極的に行っている2市にオンラインでのヒヤリングを3月27日に実施。 ・直近（令和5年10月）に、身体障害の方を対象としたグループホームを開所した1市に4月18日に見学と、法人、市担当者からの聞き取りを行った。 ・府中市内にも重度心身障害者を対象としたグループホームが1か所あるが、なぜ他に増えていかないのか、建設や運営に課題があるのか、などを中心に施設側に調査を行った。 ・他市の状況と、府中市内施設の状況を並べ、比較することで施設増加のための課題と、解決に向けた方法を明らかにし、その結果について今年度中にまとめる答申にて提言する。			

検討結果

【府中市内グループホーム樹林の家見学をふまえた第3回部会での検討結果】

1 9/11 樹林の家訪問の振り返り

(1) 施設職員へのインタビュー

- ・当該グループホームを運営している法人は、かねてより重症心身障害者を対象としたグループホームの建設を計画していたが、適当な土地や地域住民の理解を得ることが難しく、長い間グループホームを開設することができなかったが、障害福祉に理解のある不動産所有者との縁に恵まれ法人が当該物件を借り受ける形でグループホームを開設することができた。
- ・職員体制は同性介護を徹底し、夜勤は女性2名、男性2名と手厚くしている。夜勤のアルバイトが集まらないことと、土日は全員が帰る予定で予算を組んだが、帰宅しない利用者もいるなど、想定以上に人件費がかかっている。
- ・そうした理由から経営は赤字だが、他の事業で補填しているような状況。
- ・今年の報酬改定で加算がついたので多少改善されている。

(2) 施設訪問をふまえての感想と意見

- ・グループホームの開設について、障害に対する理解のある土地等の所有者とのマッチングがあって、初めて形になったという経緯があった。同様のマッチングがなかなか起こらないが故に重症心身障害者を対象にしたグループホームの数が増えていかないのではないかと考えられた。
- ・また、計画実現のためには、地域住民理解も必要な要素であり、グループホーム開設にはヒト（障害福祉に理解のある市民、開設のための職員）、モノ（土地）、カネ（経済的支援）これらすべての条件が揃わないと難しいと思われる。

2 答申書作成について

(1) これらの検討結果をふまえ、府中市に望まれることを以下3点に整理し、答申書に盛り込むこととした。

ア グループホームや入所施設の整備のための、不動産所有者や運営法人の確保のための周知活動

イ 在宅生活を支えるヘルパーやグループホーム等の職員確保のための福祉人材の確保及び育成

ウ グループホーム等の整備の際に近隣住民の理解が得られるよう、市民に対しての障害福祉に関する更なる啓発活動

(2) 答申書の作成にあたっては、9月に実施した市内グループホームの見学にて調査を終了し、部会長が整理した骨子をもとに、10月から12月の3か月間で開催した部会のなかで、部会全体で項目ごとに意見を出し合い、内容を確定した。

会議開催状況と内容

	日程	内容
第1回	4月18日	・H市グループホーム見学と法人、市役所からの聞き取り
第2回	5月31日	・3市の調査結果のまとめ ・今後の方向性について
臨時回	9月11日	・グループホームあけぼの樹林の家視察

	第3回	9月18日	・グループホームあけぼの樹林の家視察の振り返り ・答申案作成について ・東京都自立支援協議会交流会参加報告	
	第4回	10月21日	答申案（骨子）の整理及び検討	
	第5回	11月13日	答申案の整理及び検討	
	第6回	12月16日	答申内容の確定	